

実践解剖学

[講義] 第2学年 前期 自由選択 1単位

《担当者名》 下村敦司 shimo@hoku iryo u.ac.jp 才川悦子 入江一元 洪井徹 高橋昌己

【概要】

第1学年で修得した解剖学の知識と理論を体系化する。さらに、人体解剖見学により、人体の3次元構造を理解する。これらを通して、実学としての解剖学“臨床解剖学”を学ぶ。また、人体解剖見学を通じて、医の倫理について考察する。

【学修目標】

<一般目標>

将来、言語聴覚士として正確かつ適切なリハビリテーションを実施するために、臨床解剖学的考え方を学び、言語聴覚療法の理論を理解する。また、医療者として必要な医の倫理観を身につけるために、人体解剖見学を通じて、生命の尊厳について理解する。

<行動目標>

1. 頭頸部の3次元的配置と構造について説明できる。
2. 頭頸部器官の構造的特徴を知り、生理機能について説明できる。
3. 頭頸部器官の構造・生理の異常が機能に及ぼす影響を推論できる。
4. 医療倫理の基本原則を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	頭頸部の解剖学	・VR解剖アプリを使った観察により、頭頸部の3次元構造について学ぶ。 ・頭頸部の構造とその機能との関連を学ぶ。	下村敦司
3	人体解剖見学ガイダンス	・人体解剖見学の注意事項を説明する。 ・献体について学ぶ。 ・生命の尊厳について学ぶ。	下村敦司
4) 6	人体解剖見学	・実際の人体を観察し、胸部および腹部内臓の構造を理解する。 ・実際の人体を観察し、発声・発語器官および摂食・嚥下器官の位置や構造、さらにこれらを支配する神経の走行を確認する。 ・実際の人体を観察し、聴覚器、中枢神経系の構造を確認する。	下村敦司 才川悦子 入江一元 洪井徹 高橋昌己
7) 8	摂食嚥下の機能解剖学	・摂食嚥下に関わる筋の模型作成を通し、各筋の作用と摂食嚥下との関連を学ぶ。	下村敦司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

人体解剖見学の感想文 50%

模型作成課題 50%

課題で多かった誤り、問題点について講義内で解説する。

【教科書】

「解剖生理学」 「解剖生理学」 「解剖生理学演習」で配布した資料

【参考書】

Michael Schuenke 他 著 「プロメテウス解剖学アトラス 胸部・腹部・骨盤部 第3版」 医学書院 2020年

Michael Schuenke 他 著 「プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版」 医学書院 2019年

Richard L. Drake 他 著 「グレイ解剖学 原著第4版」 エルゼビア・ジャパン 2019年

【備考】

1. 第4～6回人体解剖見学は6月29日（月）3～5講目に開講する。
2. 人体解剖見学の受講には、第3回人体解剖見学ガイダンスを受けること、さらに実習後の感想文の提出を必須とする。

3. 授業に関わる連絡、授業資料の配信、学習課題の提示
 - ・授業に関わる連絡はmanabaさらにi Portalを利用する。
 - ・資料の配信はGoogle Classroomを利用する。
 - ・学習課題の提示はGoogle Classroomを利用する。
4. 授業に関する意見交換
 - ・manabaまたはGoogle Classroomを利用する。
5. 授業の理解度把握
 - ・manabaのアンケート機能を利用する。
6. 学生の理解度を促す技術の活用
 - ・人体構造の3次元的理解を促すため、VRアプリを利用する。

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲の参考書や配布資料を熟読する。また、理解不足の点はチェックしておく(80分)。復習は、参考書や配布資料に基づき、または実習を通して学習し、十分に理解を深める(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP2) 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

才川悦子(医師)、入江一元(歯科医師)、渋谷徹(歯科医師)、高橋昌己(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

才川悦子、入江一元、渋谷徹、高橋昌己：病院での実務経験を活かして、解剖と臨床の接点の理解が深まる講義を行う。